

設置工事説明書

この機器の設置には資格が必要です。

ガス衣類乾燥機(家庭用)

乾燥容量	品名	型式名
6kg タイプ	RDT-63	RDT-63
	RDT-63T	RDT-63T
	RDT-63U	RDT-63U
	RDT-63TU	RDT-63TU
9kg タイプ	RDT-93	RDT-93
	RDT-93T	RDT-93T
	RDT-93U	RDT-93U
	RDT-93TU	RDT-93TU

安全上のご注意(必ずお守りください)	1 ~ 2
1 設置前のご注意	2
2 設置場所の確認	3 ~ 4
3 同梱部品の確認	5
4 ドアの開閉方向変更について	5 ~ 8
5 標準設置例	9
6 設置工事手順	9 ~ 12
7 電気・ガスの接続	13 ~ 15
設置工事後の点検	16
試運転	16
お客様への取り扱い説明	19



07224453

RDT63-0390(00) ©

Rinnai

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ設置工事をしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った工事をすると、設置工事業者や使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った工事をすると、設置工事業者や使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを表しています。

- 絵表示には、次のような意味があります。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止
 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。		
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。	 換気必要	 アース線を必ず接続する

- 設置工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この設置工事説明書は、取扱説明書とともに保管いただくよう、お客様にお渡しください。

警告

-  ■お客様自身では絶対に機器の設置・移動・分解・修理・改造および付帯工事は行わない
 - 一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、感電の原因になります。
 - 専門の技術・資格が必要ですので、必ずお買い上げの販売店、または施工店に依頼して、有資格者による正しい工事を行ってください。
-  ■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された工事を行う
- 設置工事は、当該地域の条例および規定によるほか、必ずこの「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う
変則的な設置はしないでください。事故や火災の原因になります。
- 設置工事部品は必ず付属部品および指定の部品、専用台を使用する
当社指定部品、専用台を使用しないと、けが、機器故障、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災の原因になります。
- 給排気に関する設置基準や防火上必要な処置などの設置条件は、必ずこの「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う
これらの設置条件を満たさない設置が原因で生じた故障および損傷・人身事故などは工事者の責任となります。保証期間内でも保証の対象となりません。
- 換気が十分できる設備があるところに設置する
- 設置工事が終わったら、「設置工事後の点検のチェックリスト」にもとづいて必ず再確認を行う
不備があると、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、感電の原因になります。

⚠ 注意



■業務用として使用しない

この機器は一般家庭用です。業務用として使用すると事故や火災の原因になります。

■屋外に設置しない

この機器は屋内専用ですので、ベランダや軒下であっても屋外には設置しないでください。

■冬期凍結のおそれがある場所に設置しない



■設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する

■設置については、各地域の火災予防条例および建築基準法に従う

■扉内設置の場合の保守・点検は、器具を扉内から引き出すなどして、十分なスペースを確保する

1 設置前のご注意

設置する機器のガス・電源の確認

⚠ 警告



■機器本体銘板に記載してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外のガスおよび電源では使用しない

●記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火や機器故障の原因になりますので使用しないでください。

●転居された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。

●ガス種の異なる地域へ転居する場合は、部品交換や調整が必要です。（有料）

銘板（12A・13Aの場合）〈例〉

（RDT-93の場合）

品名コード ○○-○○○○

RDT-93
ガス衣類乾燥機

RDT-93

都市ガス 13A用 12A用

ガス消費量 ○○○kW ○○○kW

定格電圧 AC100V

定格周波数 50/60Hz

定格消費電力 ○○/○○W

標準乾燥容量 9kg

製造番号 ○○-○○-○○○○○

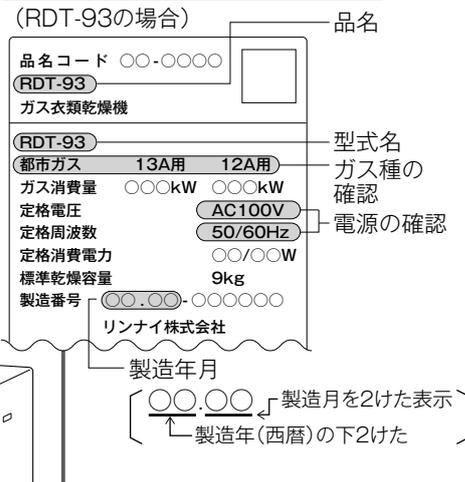
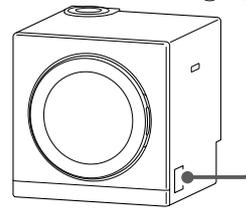
リンナイ株式会社

製造年月

○○.○○.○○

製造月を2けた表示

製造年（西暦）の下2けた



アース（接地）について

⚠ 警告



アース線を必ず接続する

■アース（接地）を確実に取り付ける

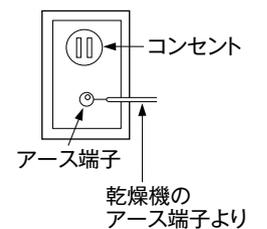
●ご使用前に必ずアースをしてください。

●アース工事は必ずお買い上げの販売店、または施工店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう、法令で決められています。）

※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）

※設置場所の変更や転居の際には、再度アースを取り付けてください。

●お部屋のコンセントにアース端子が付いている場合



2 設置場所の確認

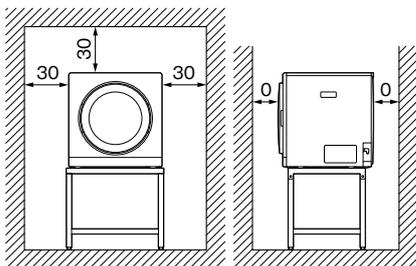
機器本体の周囲

警告



■家具や壁・棚など可燃性の部分との距離を十分に離す
防火上必要な離隔距離をとって設置してください。火災や機器過熱によるやけどの原因になります。

■防火上必要な離隔距離(mm以上)



■メンテナンス上、必要な離隔距離(mm以上)

上方	300
正面左側方	250
正面右側方	100
後方	45
前方	500

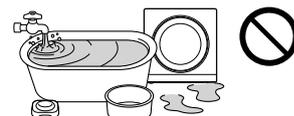
表の離隔距離は、機器を下ろして作業する場合に必要なスペースです。

警告



水ぬれ禁止

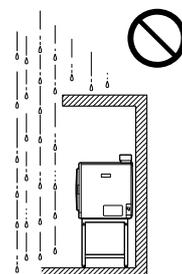
■浴室など高温・多湿の場所には設置しない
漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。



警告



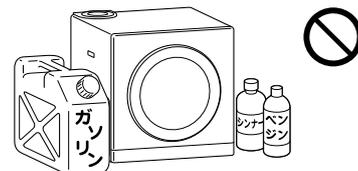
■屋外に設置しない
この機器は屋内専用ですので、ペランダや軒下であっても屋外には設置しないでください。



警告



■ベンジン・シンナー・ガソリンなどの揮発性引火物を使用する場所には設置しない
爆発や引火して、火災のおそれがあります。

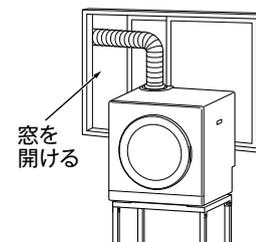


警告



換気必要

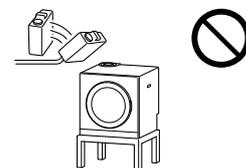
■ガスの完全燃焼には多量の空気が必要です。換気が十分できる設備があるところに設置する
換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



注意



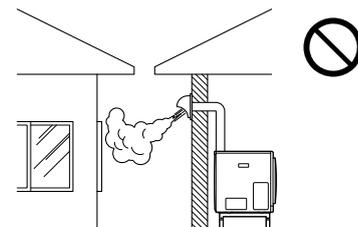
■棚の下など落下物などのおそれのある場所には設置しない
落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。



注意



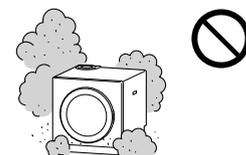
■パイプフードからの多量の水蒸気や音などが、隣家の迷惑になるような場所では使用しない
パイプフードからは運転時に音や水蒸気が発生します。騒音・におい・結露の原因になりますので、隣家・寝室などに配慮した設置場所を選定してください。



注意



■綿ぼこりの多い場所には設置しない
機器故障の原因になります。

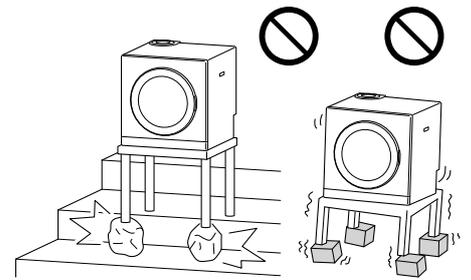


⚠ 注意



■水平で安定性のよい丈夫な場所、乾燥機の質量に十分耐え得る場所、騒音や振動が増大しない場所に設置する。水平器を用いて、水平であることを確認する

不安定な場所や傾いた場所に設置すると、安全装置が正常にはたらかなかったり、機器が転倒して、けがをしたりすることがあります。前方に傾いた状態で使用すると、ドアが勢いよく開いて、けがをすることがあります。また、建物の破損や騒音の原因になります。



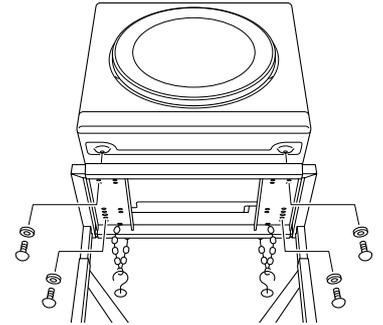
⚠ 注意



■専用台にのせて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖^(注)(専用台に付属)で専用台と壁や柱をつなぐ。また、機器は専用台にねじで固定する

機器のうしろに壁がなかったり、鎖のつなぎかたや、ねじの固定が不十分であったりした場合、機器が転倒して、けがをすることがあります。

(注) 別売の専用台 DS-54HSF、DS-80HSF および DS-80MSF は、鎖を必ず2本使用してください。



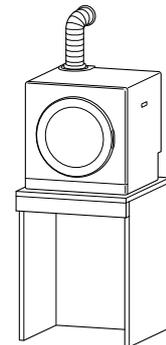
⚠ 注意



■造作棚等に本体を設置する場合は、以下の注意点を守り設置する

- ・耐荷重 60kg 以上
- ・棚板は本体寸法より大きくしてください。
- ・落下しないよう安全に配慮し水平に設置してください。

棚板に下部より固定する場合には、M5 × (棚板厚 + (5~12mm)) のねじを現場手配してください。



3 同梱部品の確認

●設置工事を始める前に、同梱部品の種類と数を確認してください。

品名	形状	個数
取扱説明書	 	各1
設置工事説明書		
ねじ (機器本体固定用)	 M5×12mm	4
座金 (機器本体固定用)		4
ねじ変換継手 (R3/8 → R1/2 ねじ接続変換用) ※ RDT-63U、RDT-63TU、 RDT-93U、RDT-93TU のみ ※ 「TU」と刻印がありますが、Rc 接続も 可能です		1

4 ドアの開閉方向変更について

ドアを左開きから右開きに変更する場合の手順です。

出荷時は、ドアは左開きになっています。

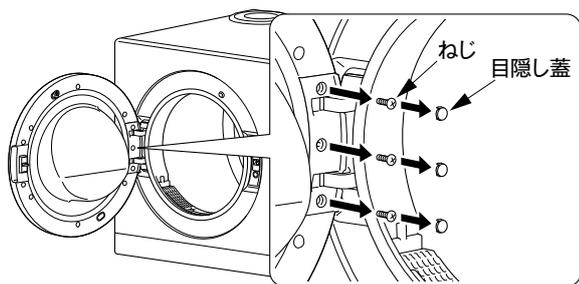
右開きから左開きに変更する場合は、各部品の取り付けが左右逆になります。

※ドアの開閉方向の変更は、お買い上げの販売店、または当社お客様センターにご依頼ください。(有料)

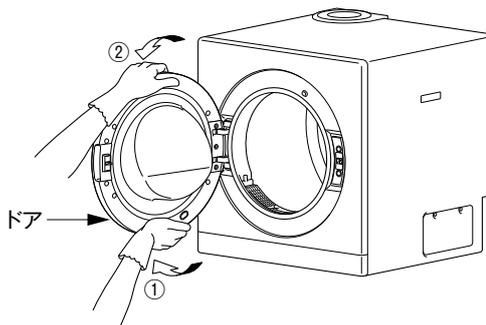
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321

1 ドアを取りはずす

① 目隠し蓋(3個)とねじ(3本)をはずす。

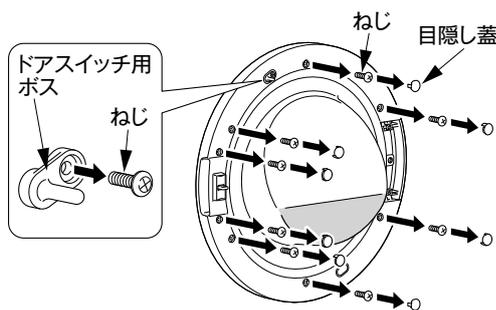


② 両手でドアの上下を持ちながら、片方ずつ外側に押すようにして、取りはずす。

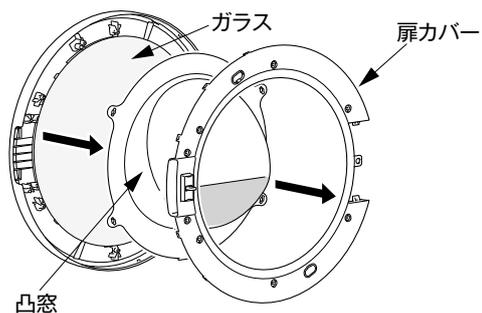


2 凸窓を上下反転させて入れ替える

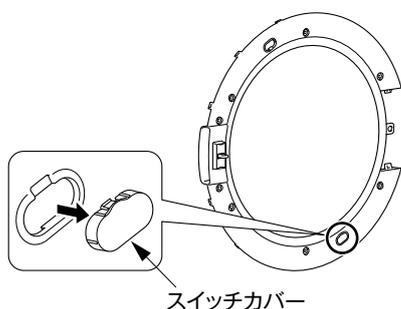
① 目隠し蓋 (8個) とねじ (8本) をはずす。ドアスイッチ用のねじ (1本) をはずし、ドアスイッチ用ボスをはずす。



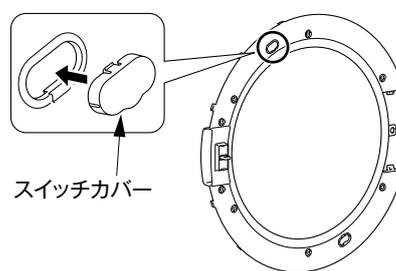
② 扉カバーをはずして、凸窓をはずす。



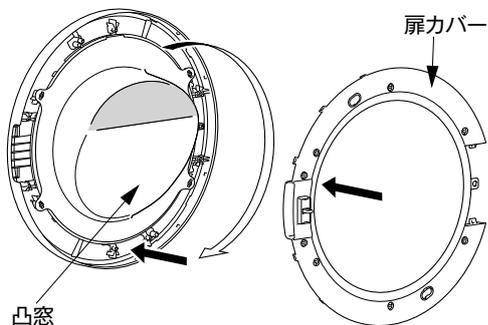
③ スイッチカバーをはずす。



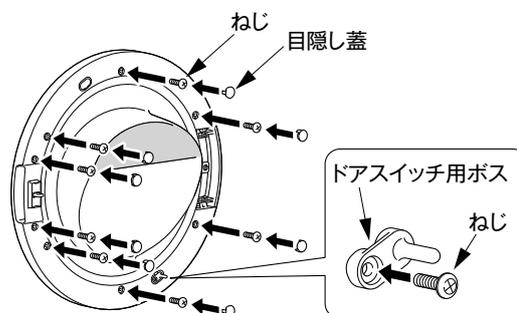
④ ①でははずしたドアスイッチ用ボスを取り付けていた部分にスイッチカバーを取り付ける。



⑤ 凸窓を上下反転させて、再度扉カバーを取り付ける。



⑥ ドアスイッチ用ボスをねじ (1本) で固定する。目隠し蓋 (8個) とねじ (8本) を取り付ける。

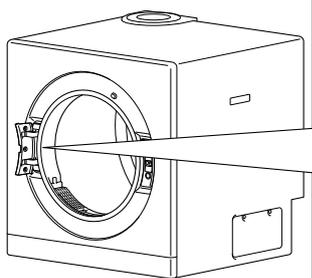


お願い

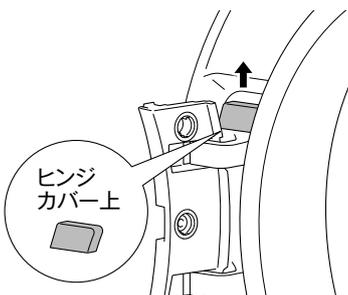
■ガラスを傷つけないよう注意してください。

3 ヒンジとキャッチを左右入れ替える

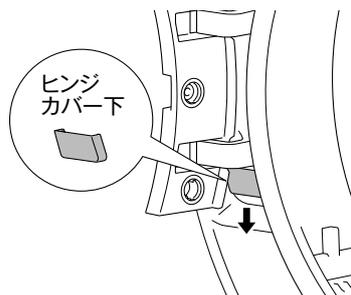
① ヒンジカバー上下を取りはずす。



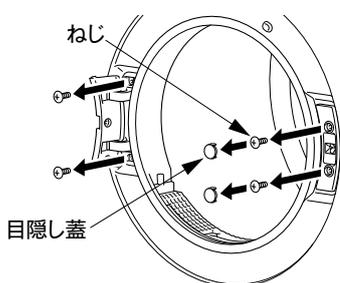
①-1: ヒンジカバー上を上へスライドさせてははずす。



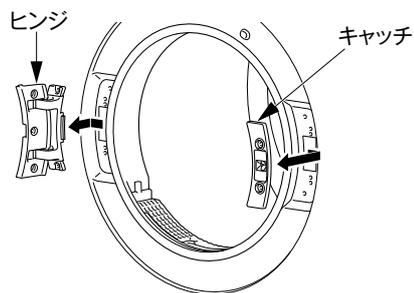
①-2: ヒンジカバー下を下にスライドさせてははずす。



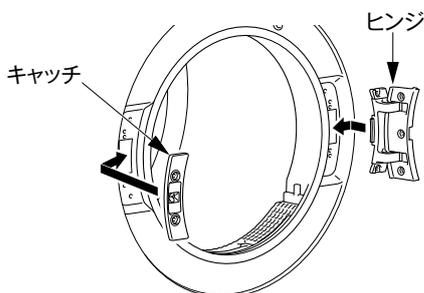
② 目隠し蓋 (2個) とねじ (4本) をはずす。



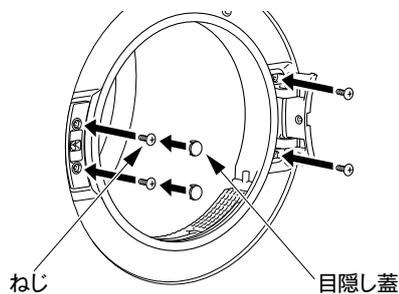
③ ヒンジとキャッチを矢印の向きに引いて取りはずす。



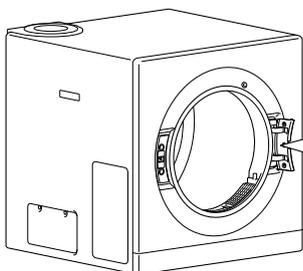
④ ヒンジとキャッチを左右入れ替えて取り付ける。



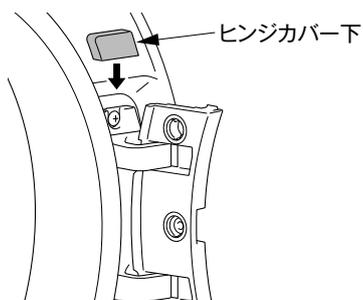
⑤ ねじ (4本) と目隠し蓋 (2個) を取り付ける。



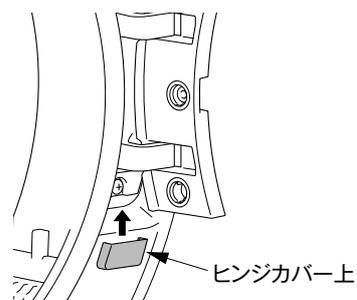
⑥ ヒンジカバー上下を取り付ける。



⑥-1: ヒンジカバー下をヒンジ上側に上から下へスライドさせて取り付ける。

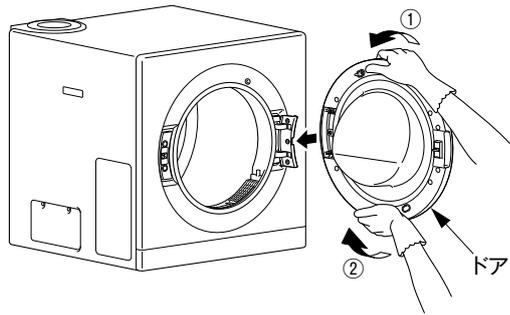


⑥-2: ヒンジカバー上をヒンジ下側に下から上へスライドさせて取り付ける。

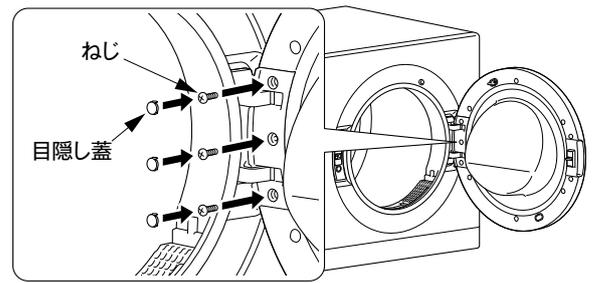


4 ドアを取り付ける

①両手でドアの上下を持ちながら、ドアをヒンジに片方ずつ取り付ける。



②ねじ(3本)と目隠し蓋(3個)を取り付ける。

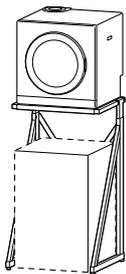


お願い

■ドアの向きを変更した後は、試運転をしてください。 16 ページ

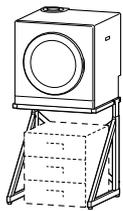
5 標準設置例

洗濯機の上に設置して
ご使用の
場合



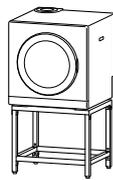
別売のガス衣類乾燥機
専用台 (高)
(DS-80HSF)
(DS-54HSF) ※

衣類の収納ラックなど
を置くスペースとして
ご使用の場合



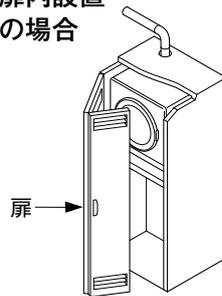
別売のガス衣類乾燥機
専用台 (中)
(DS-80MSF)

低い位置で
ご使用の場合



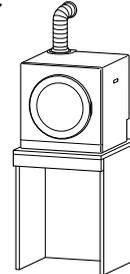
別売のガス衣類乾燥機
専用台 (低)
(DS-80LSF)

扉内設置
の場合



乾燥機をご使用中
は、扉を開けてくだ
さい。

造作棚等でご使用
の場合



別記 (4 ページ) の
注意点を確認してく
ださい。

お願い

- 専用台には寿命があります。乾燥機の買い替えをしたときは、別売の専用台も新しいもの買い替えてください。
- 専用台を使用する場合は、別売の専用台 (DS-80HSF、DS-80MSF、DS-80LSF) を使用してください。
- ※DS-54HSF は乾燥容量 6kgタイプのみお使いいただけます。
- 扉内設置については、各地域の火災予防条例および建築基準法に従ってください。

6 設置工事手順

1 専用台の組立て

■別売の専用台DS-54HSF、DS-80HSF、DS-80MSF
およびDS-80LSFの組立ては、専用台に同梱の組立
説明書を参考に、組み立てる。

■転倒防止の鎖は、組立説明書に従い、必ず取り付
ける。



〈DS-80HSF〉
〈DS-54HSF〉



〈DS-80MSF〉

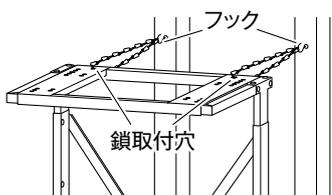


〈DS-80LSF〉

2 乾燥機の設置

■乾燥機を設置する。(床面が水平で丈夫であること、壁のすぐ前に設置することを確認する。)

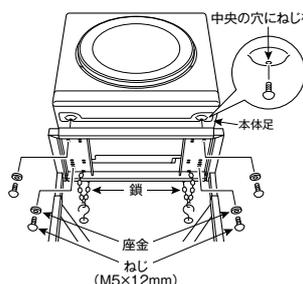
①鎖を専用台の鎖取付穴
に通す。



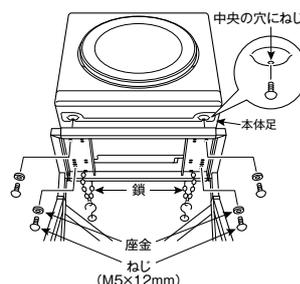
(注) 別売の専用台
DS-54HSF、
DS-80HSFおよび
DS-80MSFは、鎖を
必ず2本使用してく
ださい。

②棚板の上に乾燥機をの
せる。

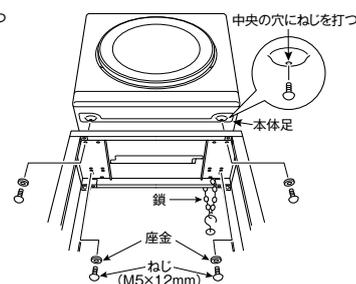
③同梱の座金 (4 個) と M5 × 12mm のねじ (4 本) を使用し、専用台の穴と乾燥機の
本体足の中央部の穴を合わせて下から取り付ける。



〈DS-80HSF〉
〈DS-54HSF〉



〈DS-80MSF〉



〈DS-80LSF〉

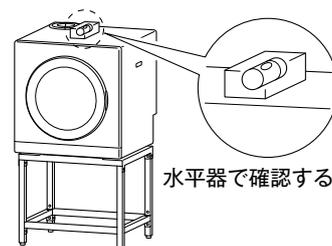
⚠ 注意



■同梱のM5×12mmのねじ以外は、絶対に使用
しないでください。機器故障の原因になります。

④乾燥機が水平であることを、水平器で確認する。
(前後、左右)

水平でないだとドアが勢いよく開いて、けがやドアの
破損の原因になります。また、安全装置が正常に作
動しないおそれがあります。
※DS-54HSF、DS-80HSF、DS-80MSFおよびDS-
80LSFは高さ調整ねじ(脚部)で調整が可能です。



水平器で確認する

※DS-80LSFの場合
(DS-54HSF、DS-80HSF お
よびDS-80MSFの場合も同
じように確認してください。)

3 排湿部材の取り付け

⚠ 注意



■排湿管を直接、換気扇などに接続しない

換気扇の風量不足により、排湿が阻害され機器停止や湿気漏れ、カビの原因になります。

■複数台の排湿管を連結したり、換気用のダクトと連結したりしない

風量不足により、排湿が阻害され機器停止や火災、湿気漏れ、カビの原因になります。

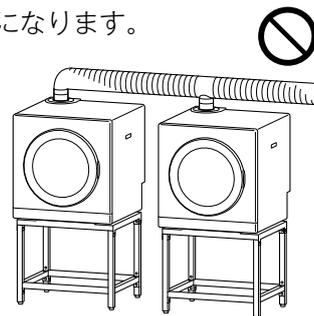


■必ず屋外に排湿するための排湿管を取り付ける

排湿管からは短時間に多量の湿気（乾燥容量6kgタイプ:約3L/1回、乾燥容量9kgタイプ:約5L/1回、標準乾燥容量時）が排出されるため、カビ、結露の原因になります。

■必ず当社の指定部材を使用する

市販の防虫網付パイプフードや出口面積の狭いパイプフードのような指定部材ではないものを使用すると、排湿が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になりますので使用しないでください。



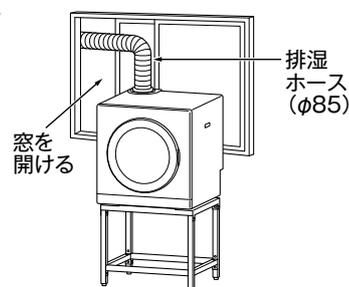
排湿ホースを使用した排湿

■排湿ホース DH-85（樹脂製、全長約 1.5 m）を使用する。

■窓を開けないで使用する場合は、別売の窓パネルセット DW-52 を使用する。

適用窓枠高さ……600 ~ 1000 mm

〈排湿ホース利用〉



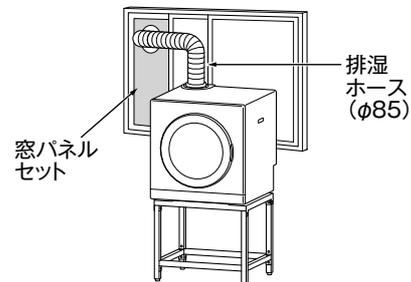
お願い

■排湿ホースを継ぎたして延長しないこと。通路抵抗が大きくなったり、ドレン漏れの原因になったりします。

最大延長 1.5 m 2 曲りまで。（排湿管を固定して延長することはできません）

■既存の排湿ホースは新しいものに交換してください。
乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります。

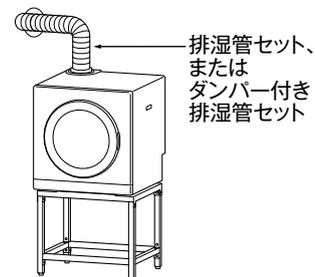
〈窓パネルセット利用〉



排湿管セットを使用した排湿

■下表に示す排湿管セット、またはダンパー付排湿管セットを使用する。（市販の防虫網付パイプフードなどを使用すると排湿が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になりますので使用しないでください。）

排湿管セット	DPS-100B	アルミ製、全長約 2m、φ 100、パイプフード有り
	DPS-80B	アルミ製、全長約 2m、φ 75、パイプフード有り
ダンパー付排湿管セット	DPS-100KC	アルミ製、全長約 2m、φ 100、パイプフード有り
	DPS-80KC	アルミ製、全長約 2m、φ 75、パイプフード有り
	DPS-100SB	アルミ製、全長約 2m、φ 100、パイプフード無し
	DPS-80SA	アルミ製、全長約 2m、φ 75、パイプフード無し



お願い

■アルミフレキを継ぎたして延長しないこと。通路抵抗が大きくなったり、ドレン漏れの原因になったりします。
最大延長 2 m 2 曲りまで。（排湿管を固定して延長することはできません）

■既存のアルミフレキは新しいものに交換してください。
乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります。

■機器停止時の冷気の逆流や虫の侵入の可能性がある場合は、ダンパー付排湿管セット（DPS-100KC、DPS-80KC、DPS-100SB、DPS-80SA）を使用してください。

排湿管を固定して使用した排湿

注意



- 排湿管を固定して設置を行う場合は、排湿管にはステンレスまたは同等以上の材料を使用する。
- 日常的に点検ができない隠ぺい部等に排湿管を設ける場合は、排湿管を固定し、ステンレスまたは同等以上の材料を使用する。
- 排湿管を延長する場合は、途中でドレン溜りのできないようにする。また、排湿管の接続部の固定およびシールも十分行う。
隠ぺい配管となる場合は適所に点検口を設ける。
排湿管は、専用の取付バンドを排湿管の接続部、または1.5m～2mの長さに対して1個の割合で堅固に取り付ける。
防火ダンパーの取り付けは不要ですが、地域の条例等で設置が必要な場合は作動温度120℃のものを選定してください。
- 排湿温度は常時100℃以下であるため、排湿管の断熱施工は不要ですが、結露には十分注意し、必要に応じて保温施工を行う。

■排湿管の施工は、必ず下記の指定部材を使用し、次式に従い種類、個数、長さを選定してください。

●φ80の場合

最大立ち上げは8mとしてください。

$$D = K + L + M \times N + O \times P + Q \times R + S$$

①	(2-1)	(2-2)			③
排湿口ガイドの係数	KP直管の長さ(m)	エルボ管の係数	エルボ管の個数(個)	トル管の係数	トル管の個数(個)
				直角エルボの係数	直角エルボの個数(個)
					パイプフードの係数

※Dの最大は11.7

●φ100の場合

最大立ち上げは10mとしてください。

$$D = K + L + M \times N + O \times P + Q \times R + S$$

①	(2-1)	(2-2)			③
排湿口ガイドの係数	KP直管の長さ(m)	エルボ管の係数	エルボ管の個数(個)	トル管の係数	トル管の個数(個)
				直角エルボの係数	直角エルボの個数(個)
					パイプフードの係数

※Dの最大は37

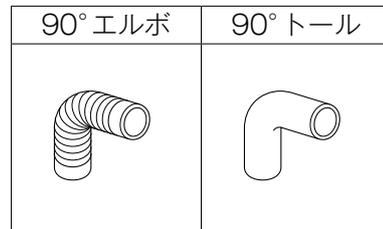
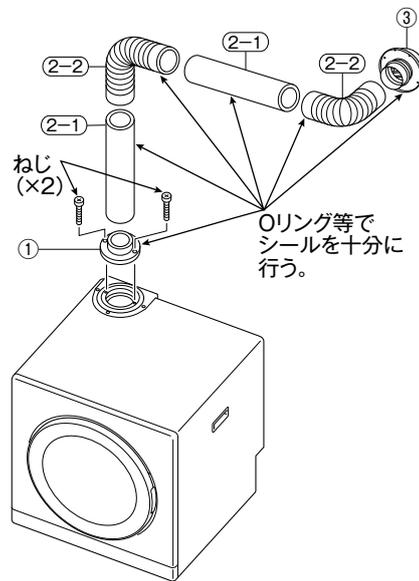
	品名	型式	係数	
①	排湿口ガイド	DG-80A	K	0
	ダンパー付排湿口ガイド	DG-80BK		3.6
(2-1)	φ80KP直管	EFP-830NJ、845NJ、860NJ、890NJ	—	—
	φ80KPスライド管	EFS-816NJ、820NJ、830NJ、850NJ、880NJ	—	—
(2-2)	φ80KP90°エルボ	EFL-890NJ	M	2.8
	φ80KP45°エルボ	EFL-845NJ		1.8
	φ80KP90°トル	FFL-8-90A	O	1.4
	φ80KP45°トル	FFL-8-45A		0.9
	φ80直角エルボ	DE-80A		4.2
③	パイプフード	DF-80A	S	0.9
	パイプフード	DFK-80		1.0
	パイプフード	DFST-80*1		1.4
	後付フードセット	DFA-80		1.3

	品名	型式	係数	
①	排湿口ガイド	DG-100A	K	0
	ダンパー付排湿口ガイド	DG-100BK		3.6
(2-1)	φ100KP直管	FFP-10-150、300、600、900、1800	—	—
	φ100KPスライド管	FFS-10-160、200、300、500、800	—	—
(2-2)	φ100KP90°エルボ	EFL-1090NJ	M	4.6
	φ100KP45°エルボ	EFL-1045NJ		1.7
	φ100KP90°トル	FFL-10-90A	O	2.3
	φ100KP45°トル	FFL-10-45A		0.9
	φ100直角エルボ	DE-100A		6.9
③	パイプフード	DF-100A	S	2.5
	パイプフード	DFK-100		4.7
	パイプフード	DFST-100*2		6.3
	パイプフード	VB-JG100S-R*2		8.9
	後付フードセット	DFA-100		2.9

※1 別途ステンレス管用アダプタ DSA-80 が必要です。

※2 別途ステンレス管用アダプタ DSA-100 が必要です。

- ・パイプフードの壁貫通穴や取り付け方法は、パイプフードの取付説明書を参照してください。
- ・市販の防虫網付パイプフードなどを使用すると排湿が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になりますので使用しないでください。



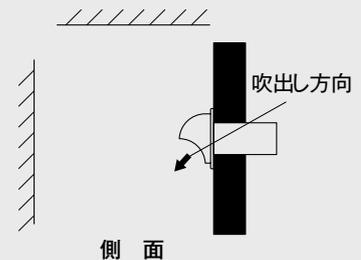
お願い

- 既存の排湿管を使用する場合は、必ずこの「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）の設置条件に従っているか確認してください。
- 既存の排湿管に埃づまりや湿気漏れがある場合は新しいものに交換してください。
- 機器停止時の冷気の逆流や虫の侵入の可能性がある場合は、ダンパー付排湿口ガイド（DG-80BK、DG-100BK）を使用してください。

注意



- パイプフードの周囲には、排出される湿気の影響を受けるようなものを設置しないでください。



4 換気について

警告



換気必要

- ガスの完全燃焼には多量の空気が必要です。換気が十分できる設備があるところに設置する
換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

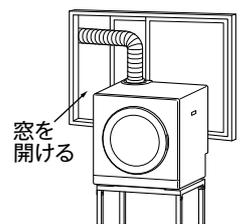
換気口について

設置場所に窓がある場合は、窓を開けるなどして空気の入替えをしてください。

給気口について

1kW あたり 8.6cm² の面積が必要です。

24 時間換気の給気面積の総和が上記面積を上回っていれば給気口設置の必要はありません。



7 電気・ガスの接続

電気接続

■使用電源の確認

- ・電源が AC100 Vであることを確認する。
- ・アースがされていることを確認する。
- ・コンセントは機器のうしろにならない位置にする。
- ・電源プラグはコンセントにしっかりと差し込む。
- ・消費電力に対し、十分に容量のあるコンセントであることを確認する。

⚠ 警告

電源コード・プラグについて



■ぬれた手で抜き差ししない

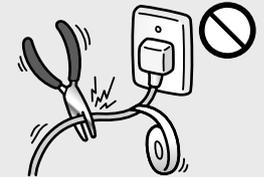
感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止



■切断して延長しない

機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。
感電や火災などの原因になります。



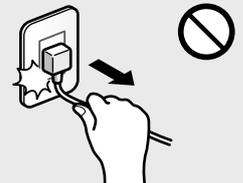
■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電・発熱による火災の原因になります。



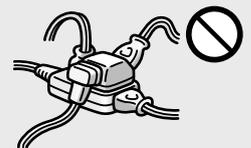
■電源コードを持って引き抜かない

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。



■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 (AC) 100V 以外で使わない

たこ足配線などで指定された定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



■無理な力を加えたり、重い物をのせたりしない、たばねたまま使用しない

感電や火災などの原因になります。



■電源プラグは根元までしっかりコンセントに差し込む

感電・発熱による火災の原因になります。

ガス接続

■機器へのガス接続に必要な資格について

(RDT-63U、RDT-63TU、RDT-93U、RDT-93TUの場合)

- ・都市ガス用機器の場合、内管工事士・簡易内管施工士・ガス機器設置スペシャリスト・ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
- ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事業開始届書」を提出する必要があります。

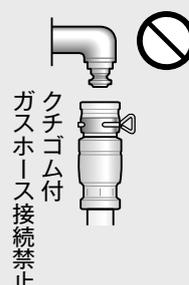
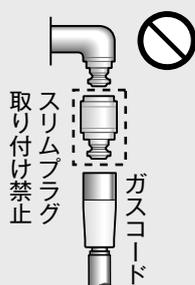


警告

間違ったガス接続 小口径迅速継手付強化ガスホース(ガスコード)の場合



■スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クチゴム付ガスホースを使用しない
ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。



■ガスコードの上に物をのせたり、踏まれる、または挟まれる状況で使用したりしない
ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。

■ガスコードを継ぎ足したり、天井などを通したりしない
接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。

正しいガス接続

※強化ガスホースは別売です。



RDT-63、RDT-63T、RDT-93、RDT-93Tの場合

ガス接続は小口径迅速継手付強化ガスホース(ガスコード)を使用します。

■ガスコードは必ず当社指定の物を使用する

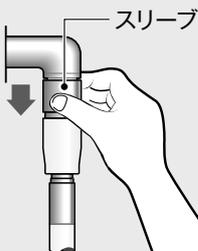
- 接続の際にはガスコードおよび機器の接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

機器への取り付け



「カチッ」と音がするまで差し込む

取りはずし



スリーブを矢印の方向に引っばる

- お使いにならないときは、キャップをガス接続口にはめてください。

警告

正しいガス接続

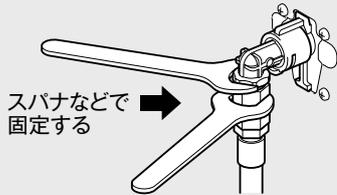


RDT-63U、RDT-63TU、RDT-93U、RDT-93TUの場合

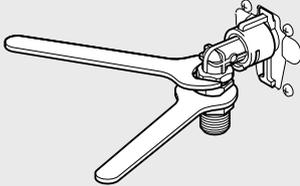
ガス接続は強化ガスホース（R3/8ねじ接続用）を使用します。

■専門業者に依頼する

- 正しく接続しないと、ガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。
- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置・移動・取りはずしの際は、必ずお買い上げの販売店、または施工店に連絡してください。
- 強化ガスホースを取り付ける場合は、スパナなどで固定してください。



- R1/2ねじ接続用に変換する場合、同梱のねじ変換継手を使用してください。

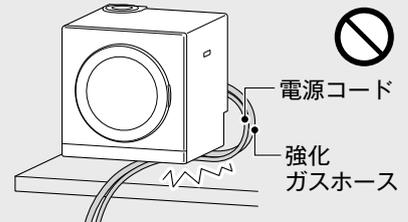


強化ガスホース・電源コードについて



- 折れたり、ねじれたりした状態で使用しない
強化ガスホースはできるだけ短く接続してください。

- 機器の下を通したり、触れたりしない
強化ガスホース・電源コードが破損して、ガス漏れや感電・火災の原因になります。



設置工事後の点検

●チェックリスト

	点検項目	点検内容	参照ページ	チェック
機器とその周辺の換気専用台	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか	2	
	電源	銘板は使用する電源電圧（AC100 V）に適していますか	2	
	設置場所	化学薬品の使用や塵埃が発生しない場所ですか	3	
		ふろ場など湿気が多い場所ではないですか	3	
		屋内に設置されていますか	2、3	
		水平であることを水平器で確認しましたか	9	
	機器本体の離隔距離	離隔距離は十分ですか	3	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか	3	
	換気設備	十分に換気できる場所に設置されていますか	3、12	
専用台設置	乾燥機はしっかりねじ止めされていますか	9		
	転倒防止の鎖はされていますか	9		
排湿管工事	排湿管は正しく施工されていますか	10～12		
電気配線工事	アース線は接続されていますか	2、13		
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか	14～15		
ラベル貼り付け	連絡先のステッカーを貼り付けましたか	—		

試運転

●設置工事後の点検完了後、試運転を行う。

●詳しくは取扱説明書に従って行う。

1) いずれかのスイッチ（設定スイッチ以外）を押して電源を入れる。（ドアを開けても電源が入ります。）

・標準ランプと  が点灯。

2) Start / Pause スイッチを押す。

・燃焼ランプ（オレンジ色）が点灯して着火したことを知らせる。

お願い

■ガス接続工事後、ガス管内に空気が入っていると点火しにくく、異常報知（ が点滅）することがあります。この場合はドアを開けた状態で Back スイッチを“ピー”となるまで押し、機器を停止させてください。ドアを閉め、いずれかのスイッチ（設定スイッチ以外）を押して電源を入れてから、Start / Pause スイッチを押して点火してください。（ が点滅した場合はそのまま冷却運転（2分間）終了後に操作してください。）

3) ドアを開けて、Back スイッチを“ピー”となるまで押す。

・燃焼ランプが消え、機器が停止。

お願い

■試運転完了後、そのまま使用しない場合は、ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様への取り扱い説明

1. 取扱説明書にそって機器の取り扱いを説明してください。
2. この設置工事説明書は、引っ越しなどで機器を移動する際に必要となりますので、取扱説明書(保証書に必要事項を記入)とともに保管いただくよう、お客様にお渡しください。

製 造 者 リンナイ株式会社

設置年月日	年 月 日
販売店名	
施工者氏名	